

MBT NEWS LETTER

第320号
'25/01/20

国や地域の経済活性化を目指す政策アクション会議で 奈良医大とMBTコンソーシアムがMBT産業創生活動を紹介

- ・ 科学技術発展支援と新しい価値創造を通じ、地域経済に活力をもたらすことで、社会に貢献する事を目指して設立された一般社団法人先端科学共創基盤機構（代表理事：前川直和氏）が事務局となり、国や地域レベルでの産業創生を議論する政策アクション会議（座長：元財務省関税局長 梶川幹夫氏）が高頻度で東京で開催されています。
- ・ 政策アクション会議は、視座の高いスタートアップ経営者、明確なビジョンを示す大学研究者、イノベーション創造に果敢に挑む企業経営者と、“アクション”を重視し、産業創造等の成功事例創出にエネルギーを集中させたいと考えており、特に議論すべき重点分野として、GX、DX、地域経済活性化、スタートアップ育成、スマート農業、自動運転、教育、経済安全保障、Fintech、Well-Being等、政府重要政策分野、を掲げています。
詳細はHP：[一般社団法人先端科学共創基盤機構 \(ASD\) について](#) を参照下さい。

- ・ その政策アクション会議から、以下に示す内容で、奈良医大およびMBTコンソーシアムに参加依頼があり、年末年始の2回に亘りMBTを中心とした産業創生や産学連携活動の紹介を行いました。
- ・ 政策アクション会議参加者は、その時々議題によって変わりますが国や地域レベルでの産業政策に関わる官僚や行政の方々、重要政策テーマに関わる企業の事業企画者や大学の研究者などであり、このような方々に医学を基礎とするMBT産業創生活動を知っていただく絶好の機会と考えて、今後も可能な限り参加を継続していく所存です。

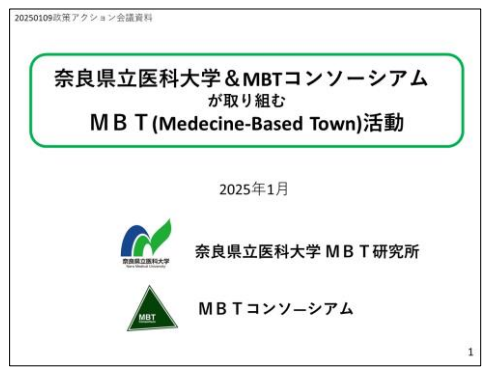
2024年12月23日（月） テーマ「奈良県産業政策検討会」

- ・ **概要**：本会議が、奈良県の産業活性化に着目し、奈良県の山下真知事や産業政策に関わる幹部、および奈良県の大学学長レベルを招集し、関係者一堂に会する中で具体的新産業創出に関わるテーマや課題を議論
- ・ **細井裕司理事長・学長より**下記の表題資料で、これまでの奈良県への産業振興貢献を紹介



2025年1月9日（木） テーマ「医療機器・産業創出」

- ・ **概要**：重要政策分野テーマ議論の一環で“我が国の医療機器・医療産業分野の振興”を取り上げ、政策アクション会議が着目した取り組みテーマについて、その紹介と課題抽出や解決策の方向付けが議論された
- ・ **MBTコンソーシアム事務局の塩山より**下記の表題資料で、これまでの新製品開発やMBTロゴマーク施策を紹介



発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、(公立大学法人) 奈良県立医科大学
 奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山
 TEL : 0744-29-8853 (直通)、FAX : 050-3164-5598、Email: mbt@mbt.or.jp